

下半期クラブプレゼンテーション

谷在家福祉園では年に2回、ご利用者に向けてクラブの選択をして頂いています。クラブの種類は4つでミュージック、エアロビクス、生け花、絵画を行っております。クラブプレゼンでは各クラブ担当の支援員が、ご利用者にむけて実演してみせたり、様々な方法でプレゼンを行いました。下期からはミュージッククラブに新しい講師をお迎えします。どんなクラブになっていくか、今から楽しみです！ 記：中嶋



編集後記

11月と言えば、秋も本番を迎え紅葉も見頃になる季節です。私はお休みの間に山に登り、綺麗な景色を見て自然の壮大さを感じました。皆様はこの季節をどうお過ごしでしょうか。年末に向けて心も体も温まる日々をお過ごしください。記 竹中



今月のボランティア

10月はとんがりぼうしカーニバルを含め
たくさんのボランティアの方にご協力いただきました。
いつもありがとうございます。これからも、どうぞよろしくお願ひ致します。

社会福祉法人 あだちの里 谷在家障がい福祉施設

〒123-0863 足立区谷在家 3-13-1

電話 03-3853-0632 FAX 03-3857-5626

ホームページ <http://www.a-sato.jp/>



とんがりWA~

谷在家障がい福祉施設

- ・谷在家福祉園
- ・谷在家福祉作業所
- ・谷在家デイサービスセンター



とんがりぼうしカーニバルを振り返って



谷在家障がい福祉施設恒例の一大行事「とんがりぼうしカーニバル2018」が開催されました。

今年は「平成最後の・・・」というサブテーマを掲げるなか、基本テーマの「夢かわいい」をコンセプトに装飾にも力が入り、館内はパステルカラーに彩られました。手づくりの大きなカボチャのオブジェやお菓子の城等を各所に施し、夢のあるかわいい世界を演出して、たくさんのお客様に好評をいただきました。

また、ご利用者が主体的に参加し、様々な場面で活躍されている姿をみていただけたことは、地域の方々をはじめご協力いただいた関係団体等のお力添えと感謝致します。

改めてこのお祭りを通じて、支えてくださる方との繋がりをより感じられる一日となりました。

担当施設長 青代 一穂
実行委員長 山方 祐輔



谷在家デイサービスセンターより

谷在家デイサービスでは、今年度のとんがりぼうしカーニバルでは作品展示の他、革細工、陶芸品、手芸品の販売を行いました。また、準備や販売はご利用者自身で行なわれ、この収益は主に材料の購入費として今後の活動に生かしていきます。当日は見学や購入に来られた方も多く、昨年にも増して賑やかに開催する事が出来ました。
記 平岡



谷在家福祉作業所より

谷在家福祉作業所では毎週火曜日に創作クラブを行っており、行事での展示や所外活動に向けて、作品づくりをしてきました。また、学生時代に美術部であった職員のアイデアも織り交ぜながら作品を完成させています。ご利用者のみなさんに出展する機会や場所があることを伝えることで、とても意欲的に取り組んで頂いています。
記:奥田



谷在家福祉園より

10月15日(月)選択外出にて、としまえんへ外出しました。園内では大勢の子供たちに負けず、たくさん乗り物に乗って楽しみました。特にジェットコースターではドキドキしながらも、降りた時には大満足の表情。お昼ご飯には、ハンバーグ&フライのプレートや、カレーライス…お好みのメニューを頼んでお腹いっぱい召し上がり、楽しく過ごせた外出活動でした。記 大野



利用者支援分科会とは

とんがりぼうしカーニバルでは、利用者が主体となり運営を行う利用者支援分科会があります。今年のテーマである「平成最後のとんがりぼうしカーニバル。未来へかがやけ」は、利用者支援分科会にて話し合いを行い、決定しました。またイベントや模擬店といった役割を担い、お祭りを成功させる為、様々な準備を行ってきました。お祭り当日は、施設に大勢の方が来場し大盛況となりました！「楽しかった！」「来年も楽しみにしています！」などの嬉しい感想も沢山頂きました。来年も利用者支援分科会を中心に、ご利用者・職員が一体となり、とんがりぼうしカーニバルを盛り上げていきたいです。
記:石山



研修、委員会など報告

福祉現場における合理的配慮について！！

人権啓発委員会主催で、10月10日に法人全職員対象の人権研修を行いました。講師には、弁護士の山田恵太先生をお迎えし、貴重なお話を伺いました。「合理的配慮」とは、障がいのある人が日常生活や社会生活を送る上で妨げとなる社会的障壁を取り除くために、状況に応じて行われる配慮のことを言います。弁護士の先生ならではの話し方も聞くことができ、普段とは違った視点で「合理的配慮」を学び、とても勉強になりました。ご利用者のみなさまが、よりいきいきとした日々を送るために、これからもさまざまな学びを深めていきたいと思っております。
記:佐々木

